

ばんけい

教育ほつとにゅーす

かわら版

こみち
教育の小径No.70
8月号

2014 August

今月のことば

地団駄を踏む

激しく地面を踏んで悔しがったり怒ったりすることです。地団駄は地踏鞠（じたたら）が転化したもの。地踏鞠とは足で踏んで空気を送る大きい鞠（ふいご）です。



国士舘大学教授
北 俊夫先生

夏休み／子どもとのつながりを

- 各学校では、夏休みにもさまざまな行事や活動が行われていますが、通常と比べて、教師と子どもたちとの関係は疎遠になりがちです。
- 子どもたちが9月からの学校生活をスムーズに送れるよう、夏休み期間中にも子どもと教師との心のつながりを維持したいものです。

今月の記念日

箸の日(8月4日)

「は(8)とし(4)」(箸)の語呂合わせです。昭和50年(1975年)に、「箸を考えよう。箸を正しく使おう」と提唱した民族学者の提案で、わりばし組合が制定しました。

様変わりした学校の風景

先生方の長期休業日における勤務形態が改められてから、夏休み期間中の学校や職員室の風景が大きく変わりました。かつてはプール指導のある日を除いて、職員室には管理職や日直の先生がいるくらいでしたので、学校は静まり返っていました。学校が閑散としていましたから、地域の人からは「先生には夏休みがあっという間ですね」などと言われた時期もありました。

かつて、夏休みは「子どもを家庭にお返しする期間だ」と言っていたこともあります。この期間は、子どもの生活や学習を各家庭や保護者にお任せし、学校や教師は直接かかわらないというものでした。夏休み期間中に子どもたちが登校する日は、プール指導のある日や林間・臨海学校が実施される日を除いて、せいぜい2～3日でした。

ところが、いまではまったく様相が変わってしまいました。プール指導だけでなく、学力補充のための指導が行われ、学校図書館や校庭、体育館などが開放されています。学校で宿泊体験を実施しているところもあります。学校で毎日子どもたちの姿を見るようになりました。毎日が学校開放日のようです。また、保護者との個人面談や家庭訪問を実施して

る学校もあります。

夏休みの期間も学校や地域によってまちまちです。従来は始まりや終了の日を教育委員会が定めていましたが、いまでは「各学校が定める」としているところもあります。そのため、気候条件以外の理由から、夏休みを早く終わらせる地域もあります。これも特色ある学校づくりの一環でしょうか。

以前の夏休み期間と比べると、子どもたちの姿を目にする機会は多くなりましたが、前記のような取り組みは学校の教育課程外として実施しているものも多く、必ずしもすべての子どもを対象していません。そのため、夏休みに教師と子どもとのつながりはどうしても疎遠になりがちです。

心のつながりを維持したい

私ごとになりますが、小学生の頃の夏休みのことです。朝のラジオ体操の会場に担任の先生が来てくれました。それだけでも嬉しかったことをいまも思い出します。また、地域の祭りや行事のときには、いつも顔を出していただきました。地域の人も頼りにしていたようです。時々自宅にも立ち寄りました。子どもたちとの接触の場や機会を意図的につくっていたのだと思います。

疎遠になりがちな夏休みに、子どもた

ちとのつながりを維持することはとても大切なことです。「先生は私たちのことをいつも気にしてくれているんだ」という、教師との人間関係を醸成し心の結びつきをつくることのできるからです。

そのためには、例えば「学級通信」を子どもたちに郵送することも考えられます。はがきでもよいでしょう。夏休み期間中の学校の様子のほかに、「2学期も皆さんが元気に学校に来ることを楽しみにしています」といったメッセージを伝えます。一人一人に言葉を添えらるともよいでしょう。

日頃から気になっている子どもには個別に助言する機会を設けたり、家庭を訪問して保護者と話し合う場をつくったりします。保護者に教師の姿勢や誠意が伝わり、問題が早期に解決したり、両者の信頼関係を一層深めたりすることもできます。

夏休み期間中にも、一人一人の子どもと教師との心のつながりを維持することは、子どもたちが2学期からの学校生活をよりよく送ることができるようにするためにも必要なことです。長期休業日が開けたあとには不登校児童が増えると指摘されています。つながりをつくることは、こうした課題を生み出さないようにするための事前の手だてでもあります。夏休みの後半には、9月からの学校生活に備えた準備をしたいものです。

働くことの意味

玲奈さん(仮名)の家は、おそば屋さんを営んでいます。お父さんは朝早くから、お店の調理場でそば粉をこねてそばをうったり、出し汁をつくったりします。お昼にはたくさんのお客さんがお店に来ます。「美味しかったよ」と言って代金を払ってくれます。

玲奈さんのお母さんも自宅の台所でそばをつくることがあります。家族の夕食のためです。でも玲奈さんの家族はお母さんにお金を払ったりしません。

お父さんもお母さんも「そばをつくり提供する」という同じ仕事をしているのですが、玲奈さんのお父さんがお店でつくとお客さんからお金がもらえます。ところが、お母さんの場合にはお金がもらえません。

こうした話から、働くということの意味を考えさせることができます。つまり、働くことには、お金をかせぐための仕事と家族の世話をするための仕事があることに気づかせることができます。前者は職業的労働であり、後者は家事的労働と言われます。

「お金は働くことによって得ることができる」と言いますが、家族の世話をする仕事や、施設や地域などでのボランティア活動は労働の対価でお金を得ることではありません。生きがいややりがいを感じることにあります。

家庭で子どもにお手伝いをさせるとき、子どもがお金(お駄賃)を要求することがあります。お手伝いをさせるときには何のために行うのか、目的をしっかりとめさせたいものです。



学習指導要領改訂に向けて

文部科学省は、「育成すべき資質・能力を踏まえた教育目標・内容と評価の在り方」について検討した結果を公表しました。これは次期学習指導要領に向けての基礎的な資料を得ることを目的に、教育課程に関する学識経験者によって検討されてきたものです。

ここでは、これからの学習指導要領の構造を、①「児童生徒に育成すべき資質・能力」の明確化、②それを踏まえて各教科等で扱う教育目標・内容の設定、③資質・能力の育成状況を適切に把握し、指導の改善を図るための学習評価のあり方、といった視点から見

なおすことを提言しています。

育成すべき資質・能力として、「主体的・自律性に関わる力」「対人関係能力」「課題解決力」「学びに向かう力」「情報活用能力」「グローバル化に対応する力」「持続可能な社会づくりに関わる実践力」などが例示されています。こうした資質・能力を評価する際には、「何を知っているか」とどまらず、「何ができるか」を基準に改善する必要があるとしています。

また、これまで学習指導要領が告示されたあとに検討されてきた学習評価のあり方を学習指導要領の改訂と一体に行うことも提言されています。これらの検討事項は、学習指導要領の構造そのものを根本的に変えるものです。今後の具体的な議論が待たれます。

コラム 北 俊夫の「3.11」体験談(10)

ようやく自宅に

麻布十番駅からは地下鉄南北線に乗り、埼玉高速鉄道線に乗り継ぎ、浦和美園駅に着いたときは、午前9時30分を過ぎていたように思います。まだ空き地も多く見られる駅前でした。この駅に来たのは初めてでしたので、浦和美園駅からはタクシーで帰ろうと考えていました。しかし、タクシー乗り場は待つ人で長蛇の列が出来上がっていました。

案内板で自宅方面の「浦和美園行き」のバスが出ていることを知り、タクシーをあきらめ、バス待ちの列に並びました。そのとき、昨夜羽田空港で貸出していたものと同じ毛布を体にまとうと、バス停に並んでいる人を見かけました。寒い日でしたから、空港からここまで持参してきたのかもしれませんが。

前日の長崎出張でお世話になった先生

から、携帯電話に着信が入りました。「昨日から心配して何度も連絡したが、つながらなかった」と言っていました。この非常時に、携帯電話は役に立っていなかったのです。非常時にこそ確実につながってほしいものです。

浦和美園行きのバスは満員でした。この路線のバスに乗るのも初めてでした。自宅に無事着いたのは、お昼前の11時頃。思っていたよりも早く着きました。

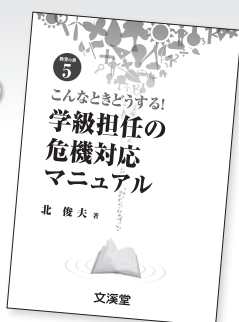
家族からは地震が発生したときの恐怖を聞きましたが、そのときの揺れを経験していない私にはどうしても実感が伴いません。むしろ昨日からの長い1日の方がよみがえってきます。

その後、テレビや新聞で、巨大地震とそれに伴う津波の被害状況を知ることになります。わか家は戸棚から地球儀や図書が落ちた程度で、大きな被害はありませんでした。

INFORMATION

こんなときどうする! 学級担任の 危機対応 マニュアル

●著者 北 俊夫
●定価 950円+税
●発行 株式会社文溪堂
A5判 96ページ



学級担任として こんなとき、どうしますか?

～目次より～

- 「不審者」が校舎内を歩いている
- 給食中、胸の痛みを訴えた
- 学校で物が無くなった
- 頭の毛を茶髪にしてきた
- 理科の実験中に事故が発生
- 通知表の内容についてクレーム など

編集後記

夏休みは、ふだんのリズムが乱れてしまうことが多いのですが、朝を有効に利用することで、充実した一日を送ることができると考えます。今年の夏は、早く起き、家事手伝いなどを早々に済ませて、有意義な時間を作れるようにしたいと思います。(T記)

企画・編集: ぶんげい教育研究所
発行: 株式会社文溪堂
発行日: 2014年8月1日